



① ギャラリーかわまつ

あ、ゴミ袋……と思うが、実は"だまし絵"。「ギャラリーかわまつ」は、アーティストがビル外壁に油性スプレーで描いた不思議な壁画が目印。昭和50年(1975)開業、平成17年より神保町に移転。ピカソ、ミロなど巨匠をはじめとするヨーロッパの作家の版画、挿画本から日本の現代作家によるシルクスクリーン、グラフィティアートまで19世紀以降の新旧交えた良質の作品を、版画を中心に取扱う。価格は1000円台～。版画はオリジナルでも一般に絵画より安価、手に入れやすいのが魅力だ。企画展を年4～5回開催。

03-3265-3030
千代田区神田神保町2-12-1



② かわほり堂

2,3人も入ればいっぱいになる広さの店内にはこの店のメインである近代文学の本や、趣味、美術に関する本がぎっしり詰まった本棚が並んでいる。古書店街からは少し離れた猿楽町、錦華通りを北上し、北神保町郵便局の交差点を右に曲がって細い路地に入り、STビル1階のいちばん奥へ向かえばそこがかわほり堂だ。泉鏡花、永井荷風、谷崎潤一郎を中心に戦前の近代文学を得意としているが、江戸時代の和本の品揃えも豊富だ。並べる本を集めるときの基準は「内容も装丁も、とにかく美しい本であること」。ここには希少価値の高い本が揃っている。

03-3292-1623
千代田区猿楽町1-4-4 STビル102



③ かげろう文庫

美術・デザイン、写真集や画集、絵本、和洋の古い挿画本など、目で楽しめる古書が中心。「かげろう文庫」は、19世紀以前の洋書から江戸時代の和本、絵葉書、戦前の古いパンフレットまで、「他店にはない品ぞろえ」(店主)が自慢の古書店だ。すべて絵入りの本なので、洋書や古文書は手に取りづらいつと感じる人にも親しみやすい。客層は幅広く、「古書店としては女性客が多いのも特徴」という。本は300円前後から、古典籍や美術品では数十万円をこえるものまで扱う。店には独特のやわらかな雰囲気漂う。

03-3291-5001
千代田区神田小川町3-26-3 坂本ビル1F



④ 源喜堂書店

和本から洋書まで美術全般を扱う美術書専門の古書店。ブックブラザー源喜堂と記された大きな看板はスポーツ用品店街の中で一際目立っている。店内には国内外の美術・建築・工芸・デザイン・写真関連書・展覧会のカタログなど、貴重なものからお手頃価格で手に入るものまで、選び抜かれた見た目にも美しい本たちがずらりと並ぶ。日本の60年代の美術書、オリジナルの写真集などは、海外からの引き合いも多い。同じビルの9階にある古書部では、古文書・名家肉筆書画・版画・短冊・色紙等を販売しており、年に1回は古書目録を発行している。

03-3291-5081
千代田区神田小川町3-1



⑤ ボヘミアンズギルド

「ボヘミアンズ・ギルド」は、大正9年に池袋に開業した夏目書房の支店で、平成16年に神保町に出店。店名の由来の通り、「慣習にとらわれない自由奔放な芸術家たちの作品」を集める。1階は洋書や写真集、美術書が中心。2階は絵画や稀覯本、自筆物などが並ぶ。特に竹久夢二のオリジナルは100点以上。商品はすべて手にとって見るができる。「古本屋にこんなものがあるのかと驚かれるようなものを置きたいんです。柱は"心地よくて楽しい"。書店はアミューズメント要素がないとネット注文で完結してしまう」(店主)

03-3294-3300
千代田区神田神保町1-1 木下ビル1F・2F



⑥ 玉英堂書店

「玉英堂書店」は希少で優れた貴重な「稀覯本(きこうほん)」の専門店。明治35年(1902)に本郷湯島天神下で古本兼貸本業として開業し、大正15年、神田神保町に移転。そして「オリジナルだけが持ちうる筆跡、装丁、紙質により作家が生きた時代に近づきたい」(店主)との思いで昭和55年、2階に稀覯本と自筆物の"特選ルーム"を開設。室町後期の源氏物語絵巻、良寛の書、司馬遼太郎の肉筆原稿など、文学史・美術史で知る名前がひしめく、密度の濃い光景だ。観覧自由。目録は年3～4回発行。

03-3294-8044
千代田区神田神保町1-1



⑦ 大屋書房

明治15年(1882)創業の「大屋書房」は、江戸時代に刊行されたあらゆるジャンルの出版物を扱う。江戸文化の息は明治中期の1900年頃までおよぶため、同店の取り扱いも厳密にはその辺りまで。和本のほか、江戸時代の古地図、浮世絵、幕末・明治の古写真も扱う。神保町に170店ほどある古書店の中でも、「時代」で括る品ぞろえは非常に珍しい。美術館でガラス越しに見るような本や絵を、実際に手にとることができる。京極夏彦の小説に登場する妖怪が載った和本も多数。

03-3291-0062
千代田区神田神保町1-1



⑧ 崇文荘書店

洋古書の専門店、1階には哲学、経済など社会科学系の学術書。利用者の8割は研究者という。2階には初版本、限定本などの稀覯本・絵本など。装丁が美しい貴重本、重厚な装葉本が並ぶ。17世紀から19世紀、20世紀初頭のものが多く、欧米の歴史ある古書店が図書館の中にもでいるかのようで表の喧騒を忘れてしまう。なお店頭には数百円の絵本や1000円ほどのビジュアル書もある。絵本はイギリスやアメリカへ出かけて仕入れたものが中心。分野ごとに毎年美しいカタログを発行しており、探求書を登録すれば国内のみならず海外でも探してくる。

03-3292-7877
千代田区神田小川町3-3



⑨ 田村書店

仏独文学を中心にヨーロッパの哲学・歴史・美術に関する書籍、洋書の稀覯書を扱う専門店。入口両脇には神社の千社札のように、全集の値札がこれでもかと言わんばかりに、数限りなく貼られている。扱う全集の数が多すぎて、実物はお店の人に頼んで出してもらわなければならないほど。1階には日本の近代文学や、西洋の古典を中心とした翻訳もの、哲学書やその研究書、2階には洋書が並ぶ。蒐集家には料理本(原書)、挿絵本、美麗装丁本が特に人気。店頭では日本一質が高いと言われる特価セールが行われ、いつも多くの人でにぎわっている。

03-3291-0563
千代田区神田神保町1-7



⑩ 悠久堂書店

美術展目録、料理本、ビジネス書などニッチ分野で日本一を狙う古書店。山岳関係の本と動植物の本の品揃えも豊富。1階は美術と食のフロア。美術好きの日本人の支持が絶大なのももちろん、海外、特にアジアの美術好きな外国人旅行者も美しい日本の印刷物を求めてたくさん訪れており、その数は全体の割にも達する。料理本の品揃えはプロの料理人も信頼するほどで、上の世代の情報を集める若い女性たち向けに古い『暮らしの手帖』なども用意している。2階は山と動植物のフロア。新刊から古本まで様々で、山の雑誌のバックナンバーも揃う。

03-3291-0773
千代田区神田神保町1-3



⑪ 蘭花堂

中国からの輸入美術書籍や、中国絵画、版画、書画、美術品などを取り扱う店。中国の文化や芸術を肌で感じることができる。市場での買い付けや一般からの買い取りも行うが、店主自ら直接海外に出向いて仕入れることも多い。美術品は、前漢(紀元前202年頃)の時代のものもある。来店するのは大学の先生や学生、中国古美術愛好家が多い。写真や図版の多い美術関係の書籍も数多く取り揃えているため、デザイナーも来店する。店内は、本屋を兼ね備えたギャラリーといった雰囲気。本棚には中国語の書籍だけでなく、日本語で書かれた本も並ぶ。

03-3294-3008
千代田区神田神保町1-46 斎藤ビル1階



⑫ 八木書店 古書部

創業は昭和9年(1934)、「八木書店 古書部」は上代から近現代までの日本文学を扱う。歴史的に極めて価値の高い本の影印本、近代文学の初版本や草稿、自筆物の充実が特徴だ。その一例、正倉院で千年以上保管されている文章を精密な写真と印刷、劣化の少ない中性紙で再現する「正倉院古文書影印集成」は研究者垂涎的。管理システムに先端技術の導入や、新刊書のバーゲンブック(特価本)など業界先駆けの取り組みでも知られる。年に2回、近代文学の魅力を深める特別講座を開催(参加無料)。目録は1月、10月の年2回発行。

03-3291-8221
千代田区神田神保町1-1

